

## 青少年の体験活動の意義と実際

独立行政法人国立青少年教育振興機構

青少年教育研究センター 青木 康太郎

本講義のねらい

青少年の体験活動の現状や必要性、教育的意義について理解を深め、体験活動の企画や指導のポイントを学ぶことで、今後の教育活動に役立ててもらおう。

### (演習) 1. 体験活動の実際

- (1) 自然を使ったゲームを体験する
- (2) 自然体験の意義を考える

### (講義) 2. 近年の青少年における体験活動の現状と推移

- (1) 体験活動とは
- (2) 体験活動の現状と推移
- (3) 子供の体験事情とその対応

### 3. 体験活動の意義

- (1) 体験をよくしている子供ほど
- (2) 子供の学びの過程
- (3) 直接体験にあつて間接体験にないもの
- (4) 何を体験させるのかではなく、どう体験させるのか

### 4. 多様な体験活動を提供する青少年教育施設

- (1) 青少年教育施設の役割
- (2) 青少年教育施設の現状と課題
- (3) 青少年教育施設職員に必要な 3 つの能力

### 5. 体験活動の企画や指導のポイント

- (1) プログラムの企画とは？
- (2) プログラムを立てる手順 (考え方)
- (3) 体験学習の基本的な考え方
- (4) 体験活動の指導で大切にしてほしいこと

### [主な参考文献]

- ・「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」報告書 (平成 26 年度調査)
- ・「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書
- ・「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」[結果の概要]
- ・「平成 27 年度社会教育統計」
- ・「学校で自然体験をすすめるために 自然体験活動指導者養成講習会テキスト」